



Photo: Aki Toyoshima

M/M (Paris) 特別講演

[日時] 2023年4月3日(月)
16:00-18:00

[場所] 1階 P1会場 [定員] 165名



在校生用



外部来場者用

桑沢デザイン研究所の客員教授 M/M(Paris)のお二人(マティアス・オーガスティニアク先生とミカエル・アムザラグ先生)が3月末に来日されます。来日を記念して、4月3日(月)に桑沢デザイン研究所1階P1会場にて特別講演を行ってくださることになりました。特別講演への参加は事前Web予約制です。コロナ感染防止対策のため来場者数は165人(在校生115人+外部:卒業生含む50人)とさせていただきます。3月21日(火)0:00から予約受付開始です。学生のみなさまには、一斉メールでも予約方法をお知らせしますので、ご都合の良い方は予約の上でご参加をお願いします。外部からの参加希望のみなさまは、予約の際に「所属」と「学校・会社名」を申込フォームにご記入をお願いいたします。当日、入場の際にWebで予約すると作成される携帯上の参加証で入場確認を行いますので来場時に提示のご準備をお願いします。

お二人の最新の書籍である『Letters from M/M (Paris)』は著名なタイポグラフィーの専門家であるポール・マクニール氏が執筆とデザインを担当し、今年1月にテムズ&ハドソン社から出版されました。本書がTDC賞をBjörkのための「Fossora Typeface」とW受賞されたことを記念して『Letters from M/M (Paris)』を桑沢での講演にご持参された方に限り、レクチャーの後で特別にM/M (Paris)が本にサインを入れてくださいます。

M/M(Paris)

Michael Amzalag(ミカエル・アムザラグ)とMathias Augustyniak(マティアス・オーガスティニアク)が1992年にグラフィックデザインスタジオとして立ち上げた。アート、音楽、ファッション、建築、デザイン、演劇といったさまざまな文化の領域でコラボレーションを展開。作品は生きた体だとAmzalagとAugustyniakは考える。自分たちの仕事は何かを伝えるものとして看板や画像を制作することだと二人は理解している。彼らは常にそれらをシャッフルして自分たちの言葉を創り出す。単純なサービス提供という枠組みを拒絶する二人は、体験の喚起を彼らに委ねたクライアントとの生産的関係を広げ、多くの長期的な関係を築いてきた。M/M(Paris)の作品は、パリのボンピドゥー・センター、国立近代美術館、装飾美術館、ロンドンのデザイン・ミュージアム、テート・モダン、マイアミのコンテンポラリーアート美術館などの施設でコレクションとして展示されている。「M to M of M/M(Paris)」(2012年)の発表から8年を経て、Thames & Hudsonからその第2巻が出版された。アートとデザインの世界で活躍する二人のモノグラフの集大成となる456ページの大冊である。(https://tokyotypedirectorsclub.org/award/2021_tdc_01より引用)

